

## 平成 29 年度京都府公立高等学校入学者選抜前期選抜における共通学力検査の出題について

### <出題方針>

中学校学習指導要領に基づき、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等が的確に把握できる出題とする。また出題範囲は、中学校学習指導要領の趣旨に沿った、標準授業時数での学習範囲において、生徒が履修している各教科の内容をふまえた適切なものとなるようにする。

### <特徴>

基礎・基本の定着、論理的な思考力や判断力・表現力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着と、基礎・基本の理解からその発展的問題への思考過程をみるとともに、生徒が身に付けたさまざまな知識・技能等を活用して総合的に考え、判断・解決し、表現できるかどうかをみる記述式の解答を求める問題を設けた。

### <各教科の特色と傾向>

#### 【国 語】

- 1 現代文では、文章の構成をとらえて内容を理解する力をみるとともに、論理の展開をとらえて筆者の主張を簡潔にまとめる力をみた。また、言葉の特徴やきまりに関する事項、漢字に関する事項についての理解をみる問題と、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の内容に関連する問題を設けた。

〔出典〕 「ちばてつやが語る『ちばてつや』」 ちばてつや (集英社新書)

「共感の人間学・序説—概念と思想史—」 やまざきひろみつ 山崎広光 (晃洋書房)

問題文は、漫画家であるちばてつや氏による、プロとアマチュアの違いについて述べた文章と、哲学者である山崎広光氏による、共感的自己の形成について読書経験を例に述べた文章である。本文の内容を的確に理解することで、人生について考えを深め、豊かな人間性を養い、たくましく生きる意志を培う契機となることを期待する。

- 2 古文では、中世の文章を題材とし、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いなどについて問い、古典を理解する基礎が身に付いているかどうかをみた。なお、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、筆者の思いや我が国の文化と伝統などについて考える出題となるように留意した。

〔出典〕 「花鏡」 (「新編日本古典文学全集」小学館より)

室町時代に世阿弥ぜあみが著した能楽論書。

問題文は、能を演じる時の心のあり方について書かれた文章である。本文の内容を読み取ることで、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典の世界に親しむ態度が養われていくことを期待する。

#### 【数 学】

- 1 数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得できているかどうかをみるとともに、それらを活用して様々な事象を数理的にとらえ、見通しをもって論理的に考察する能力をみるように工夫した。また、三角形の合同に関する証明の問題については、根拠を明らかにし、筋道立てて表現する能力をみた。
- 2 数と式の領域と資料の活用の領域を関連付けた問題や、各学年の学習内容を関連付けた問題を設け、異なった領域や中学校の3年間の学習内容を統合的に活用できるかどうかをみた。また、電球の点灯と消灯に関する問題については、倍数の性質に着目する問いを設け、数学的な思考力・判断力・表現力を段階的にみられるように工夫した。

#### 【英 語】

- 1 全体をとおして、生徒の身近な暮らしに関わる場面についての問題を設け、英語でのコミュニケーション能力の基礎となる知識・技能を習得しているかどうかをみるとともに、それらを活用して思考・判断・表現する力が身に付いているかどうかをみた。
- 2 絵を見て会話文を完成させる記述式問題では、言語の使用場面や働きに留意しながら基本的な語彙や文法などの知識を活用して、状況に合った適切な質問や説明を英語で表現する力をみた。
- 3 筆記問題では、スタイルの異なる2つの文章から出題し、語句や文、文法などに関する知識が身に付いているかどうかをみるとともに、内容を正しく読み取る力をみた。さらに、観光地での案内に関する会話を題材とした問題では、必要な情報を整理して読み取る力をみる問いを設け、日本文化と異文化コミュニケーションを題材とした問題では、論旨をふまえて適切に英語で表現する力をみる問いを設けた。
- 4 リスニング問題では、会話やアナウンスなどまとまりのある英語を聞いて概要や要点を適切に聞き取り、正しく理解し、内容に関する質問に対して適切な応答を考える力が身に付いているかどうかをみた。